

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 ホームページ: http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。 ※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。
単 元 株 式 数	100株
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所市場第二部
インターネットホームページ	http://www.soft99.co.jp

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.soft99.co.jp>



IR情報ページ
業績レポートや、
株主情報などを
ご覧いただけます。



商品情報ページ
新製品情報や、
Q&Aなどをご覧
いただけます。



TwitterやFacebook
などのSNSサービスとも
連携しています。

第59期 中間報告書

平成24年4月1日 > 平成24年9月30日

株主の皆さまへ

「生活文化創造企業」の経営理念のもと、 更なる成長を目指します。

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第59期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

中期経営計画「Spiral Up“FINAL”」も2年目となり、当第2四半期で折り返しを迎えました。当社グループ各事業においては、とりまく事業環境が激変する中、それぞれの特色を活かし、積極的に営業活動に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期までの実績は、売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益について、前年同期を上回る結果となりました。

当社事業について、特に自動車を取りまく環境は、エコカー補助金の効果による好調な新車販売や、底堅い個人消費にも支えられる中で好転しました。そのような中、業務用製品の販売が好調に推移し、一般消費者向けの営業現場においては、当社製品の特徴を前面に押し出した積極的な売り場展開をすすめることで、競合品との競争が激化する中でも当社製品に対するお客様の支持を得ております。そして、海外向け販売では、継続する円高等の厳しい影響の中、アジアの既存マーケットは苦戦したものの、中国やロシア向け販売は増加し、事業拡大に向け、新規マーケットの開拓をすすめています。

今後も当社グループは、「生活文化創造企業」の経営理念のもと、各事業の特色を活かしながら事業の拡大を図るとともに、中期経営計画の最終年度に向け、お客様に長く愛される製品・サービスを提供し続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

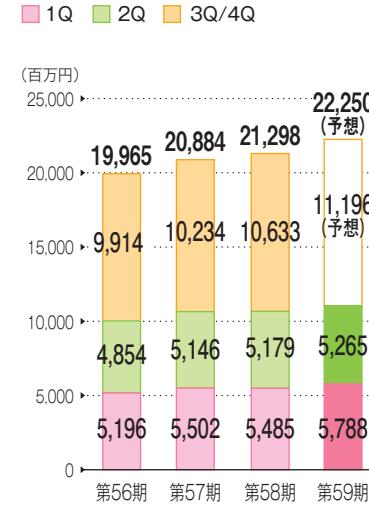
平成24年12月



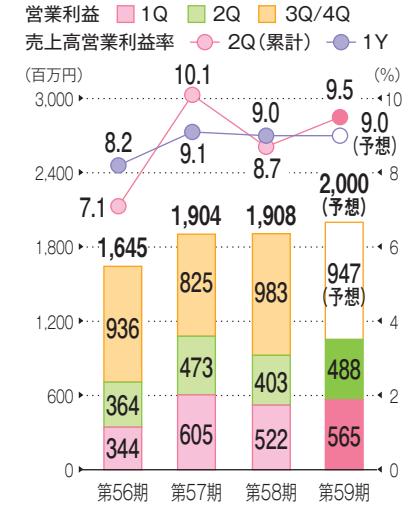
代表取締役社長 渡辺 泰

連結財務ハイライト

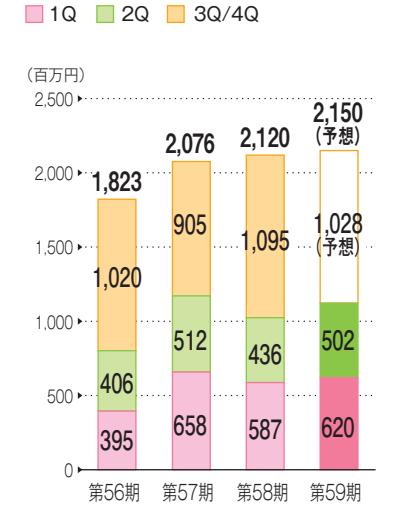
◎ 売上高



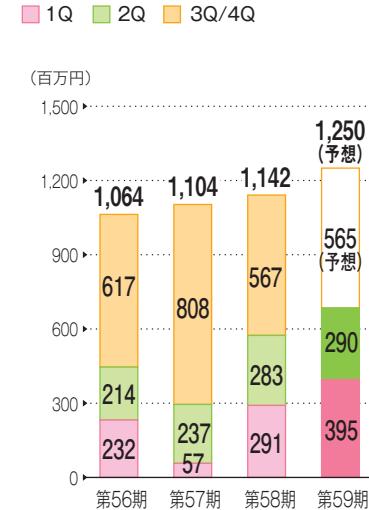
◎ 営業利益・売上高営業利益率



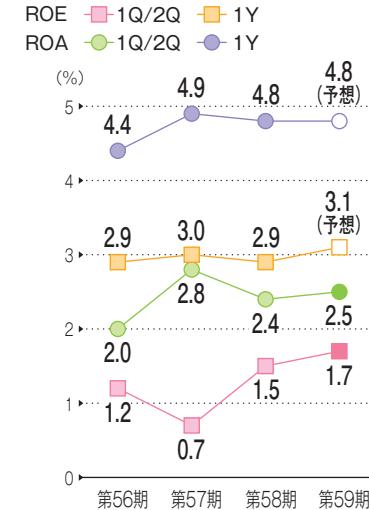
◎ 経常利益



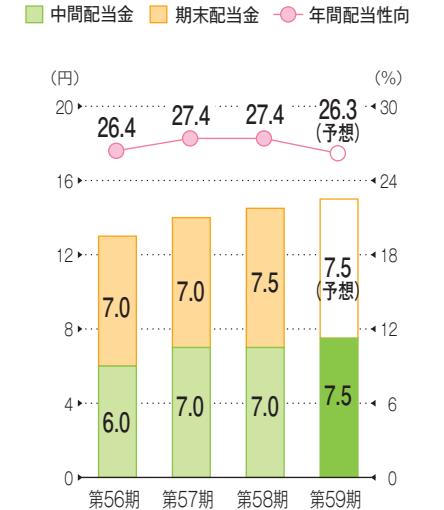
◎ 四半期(当期)純利益



◎ ROE・ROA



◎ 1株当たり配当金・配当性向



四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期（累計） （23.4.1 から 23.9.30 まで）	当第2四半期（累計） （24.4.1 から 24.9.30 まで）
売上高	10,664	11,054
売上原価	6,987	7,257
売上総利益	3,676	3,796
販売費及び一般管理費	2,751	2,741
営業利益	925	1,054
営業外収益	104	85
営業外費用	4	17
経常利益	1,024	1,122
特別利益	0	4
特別損失	10	4
税金等調整前 四半期純利益	1,014	1,122
四半期純利益	574	685

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point 売上総利益

ファインケミカル事業で、高付加価値製品の業務用製品の販売が増加。
一方、ポーラスマテリアル事業において、コスト要件の厳しい海外向け産業資材の販売構成比が増加したことで、連結の売上総利益率は前年を若干下回る。

Point 営業利益

販売促進費等の戦略経費は増加するも、広告宣伝費の減少等、費用の効率的な運用に努めたことで、売上高の増加とあわせて営業増益に。

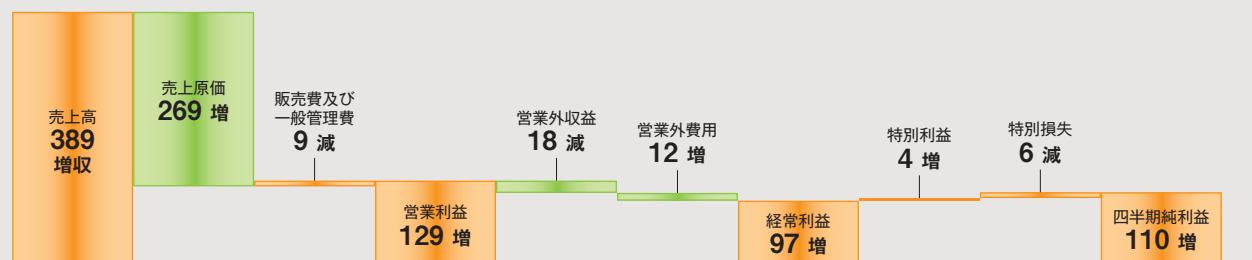
Point 四半期純利益

営業外損益・特別損益に大きな変動は無く、四半期純利益は前年同期比19.3%増。

前年同期との比較

（単位：百万円）

当第2四半期（累計）
H24年4月1日～H24年9月30日



セグメント別概況

Fine Chemicals

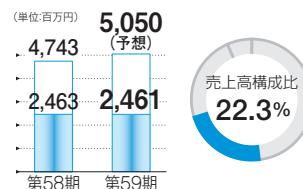
ファインケミカル



- ▶ 消費者向け製品では、店頭で積極的な営業活動を行ったことで、自動車ボディお手入れ製品や、「ガラコ」等のガラスお手入れ製品の販売が好調に推移。ワイパーの新製品投入もあり、消費者向け製品販売は増収に。
- ▶ 業務用製品では、エコカー補助金による好調な自動車販売に支えられ、コーティング剤の販売が好調に推移し、大幅増収に。
- ▶ 家庭用製品では、主力のメガネ用製品の販売が苦戦。
- ▶ 海外では、アジアやロシアを中心に販売が好調に推移したことで、増収に。中国向け販売は日本からの輸出と現地生産品がともに好調。ロシア向け輸出では、現地での積極的な販促活動により大幅増収。新規仕向け先としてミャンマーやモンゴルを開拓。

Porous Materials

ポーラスマテリアル



産業資材部門

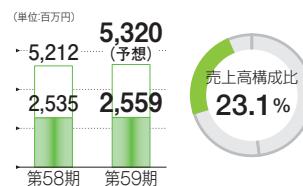
- ▶ 国内向け販売は、前期、得意先からの節電対策の前倒し生産があり、当期は通常の受注となったため減収となったが、海外向け販売で主要得意先からの受注が増加したことで増収に。

生活資材部門

- ▶ 夏季商材の冷却グッズの販売が競合品の台頭により苦戦。自動車用製品では、米国やインドネシア等、海外向けで増収となるも、夏季商材の落ち込みをカバーできずに減収に。

Service

サービス



オートサービス事業

- ▶ 整備や钣金の受注獲得のための積極的な営業を行い、特に近畿圏での損害保険会社からの入庫誘導が順調に推移し、増収に。

自動車教習事業

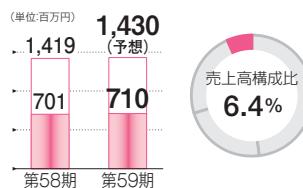
- ▶ 繁閑のバランスを考えた効率的な運営に努め、大型車や二輪車の入所者は増加。エコドライブ講習や資格講習の受注も順調に推移したものの、普通免許の入所者が伸び悩み、減収に。

生活用品企画販売事業

- ▶ 生活協同組合向け販売では、企画採用数は増加したものの、1アイテム当たりの売上が落ち込む。インターネット通販等の増加分で補えず、減収に。

Real Estate

不動産関連



不動産賃貸事業

- ▶ 一部物件で退去があったため、若干減収に。

温浴事業

- ▶ 催事開催やオリジナル飲食メニューの提供等、リピーター獲得のための活動に取り組んだことで、来場者数は増加。客単価も向上したことで増収に。

■ 第2四半期(累計) □ 通期

四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期末 (24.9.30 現在)	前期末 (24.3.31 現在)
資産の部		
流動資産	15,572	14,885
固定資産	28,792	29,213
有形固定資産	22,254	22,061
無形固定資産	226	238
投資その他の資産	6,311	6,913
資産合計	44,365	44,099
負債の部		
流動負債	2,898	3,171
固定負債	2,121	1,995
負債合計	5,020	5,167
純資産の部		
株主資本	39,101	38,560
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	3,116	3,116
利益剰余金	33,987	33,464
自己株式	△ 313	△ 329
その他の包括利益累計額	243	370
純資産合計	39,344	38,931
負債・純資産合計	44,365	44,099

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期（累計） (24.4.1 から 24.9.30 まで)	前第2四半期（累計） (23.4.1 から 23.9.30 まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	970	910
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 624	△ 1,827
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 55	△ 171
現金及び現金同等物 に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物 の増加額（又は減少額）	290	△ 1,088
現金及び現金同等物 の期首残高	7,081	7,915
現金及び現金同等物 の四半期末残高	7,371	6,826

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー
 税金等調整前四半期純利益 1,122百万円
 減価償却費 365百万円
 売上債権の減少額 142百万円
 法人税等の支払額 489百万円
 投資活動によるキャッシュ・フロー
 有形固定資産の取得支出 689百万円
 有価証券・投資有価証券の取得支出 1,012百万円
 有価証券・投資有価証券の売却・償還収入 1,315百万円
 財務活動によるキャッシュ・フロー
 「従業員持株会支援信託ESOP」導入による借入・自己株式
 処分・返済 135百万円
 配当金の支払額 162百万円

株式の状況 & 会社の概要

◎ 株式の状況（平成24年9月30日現在）

株式の総数

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	22,274,688株

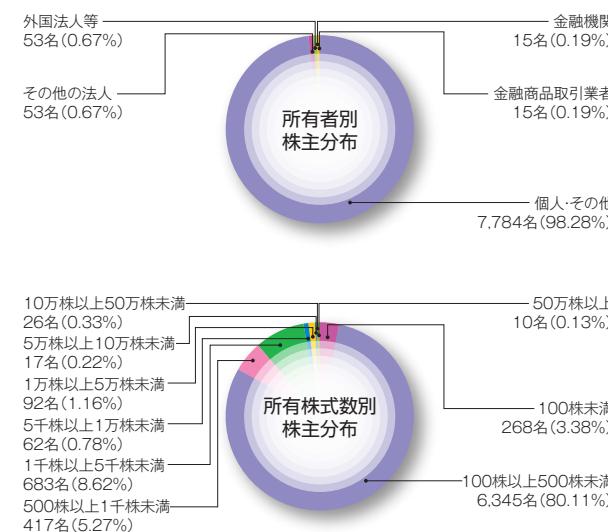
株主数

当第2四半期末株主数 (自己名義を除く)	7,920名
-------------------------	--------

大株主

株主名	持株数	議決権比率
サントレード株式会社	3,246,528株	14.8%
田中 秀明	1,496,976	6.8
鈴木 幹子	1,492,656	6.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	799,200	3.6
株式会社みずほ銀行	709,600	3.2
田中 信	603,720	2.7
佐藤 佐世子	594,192	2.7
田中 明三	552,424	2.5
ゴールドマンサックスインターナショナル	530,100	2.4
田中 斗葵恵	502,624	2.2

※上記の他、自己株式が398,591株ございます。



◎ 会社の概要（平成24年9月30日現在）

商号	株式会社ソフト99コーポレーション
設立	昭和29年10月28日
本社	大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資本金	2,310,056,000円
従業員数	195名
事業内容	自動車用化学製品の製造及び販売

◎ 役員（平成24年9月30日現在）

代表取締役社長	渡 辺 泰
取締役会長	田 中 明 三
専務取締役	平 野 泰 彦
常務取締役	西 川 保
常務取締役	辻 平 春 幸
取締役	奥 埜 佳 秀
取締役	田 中 秀 明
取締役	石 居 誠
取締役	田 中 信
常勤監査役	古 居 祐
監査役	平 井 康 博
監査役	竹 村 聡
監査役	樋 口 秀 明